

活動テーマ

自然・物・人のつながりを大切に 仲良く生きよう

近江八幡市立老蘇小学校

環境グループを支える委員会

環境グループ

名称	老蘇っ子エコクラブ
構成人数	142人



名称	老蘇小 ビオトープ委員会
構成人数	29人
主な構成メンバー	PTA, 教師, ビオトープサポーター(地域の方)

エコ・スクールの活動に重要な3つの視点の取組

子どもたちの主体的な取組

- 1学期 僕たちの「学級エコ宣言」各学年に呼びかけて今年のエコ宣言を設定 自然と遊ぼう ビオトープ活動での自然遊び
- 2学期 老蘇の宝探し 小学校にある自然の豊かさに触れるフィールドバック
- 3学期 「学級エコ宣言」をもとに一年間の環境に対する実践の取組を振り返る
- 通年 牛乳パック・アルミ缶回収活動と「お帰りティッシュ」の活用 ビオトープ整備作業への参加

今後の活動へのつながり

児童会の環境委員会が企画し、全校の児童に働きかけている。「学級エコ宣言」は、子どもたちのエコに対する意識を高め、自分たちが今できる実践を考える良い機会となっている。宣言の出しっぱなしにならないよう、3学期には見直しの活動も計画している。ビオトープ活動は、低、中学年に活動が集中するため、機会を見つけてビオトープのすばらしさや自然に親しむ楽しさ、生き物の命に出会う楽しさを全校に伝え、広めていく活動となっている。一過性の活動ではなく、今後も継続した活動として定着させ、老蘇小学校の大きな特色として位置付けたい。

地域との関わりについて

牛乳パックの回収は地元の「環境生協」と連携し、回収とリサイクルをしてもらっている。回収された牛乳パックは環境生協を通してティッシュやトイレトーパーになり、「お帰りティッシュ」「ただいまロール」として教室やトイレで活用している。

ビオトープの整備は、PTAや地元有志で組織されるビオトープサポーターの皆さんが中心となって活動されており、環境委員会の児童もお手伝いの形で参加している。

主な活動内容紹介

12月に、「老蘇の宝探し」を環境委員会が計画しました。環境委員会は自分たちの足で、老蘇小学校の宝物になる自然を観察し、クイズの用紙を作りました。樹齢200年を超えるクスノキやクロガネモチ、樹高が校舎より高いスズカケノキなどを選び、宝探し当日は、これらの木を説明しながら自然のすばらしさを伝えていきました。参加した児童は決められたポイントを回ってクイズに答えると、最後には自分の見つけた自然の葉っぱをラミネートで包み、すてきな自分だけの「オリジナルしおり」をもらいました。

子どもたちの声や感想など



老蘇小学校の宝が学べて楽しかった(5年生)



自分だけのしおりが出来てうれしい。きれいなイチョウのしおりができた。(4年生)

クイズが楽しかった。またして欲しい(2年生)